

JIS

パレタイザ及びデパレタイザ

JIS B 8951 : 2014

(JSIM/JSA)

平成 26 年 1 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 物流技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	増井 忠幸	東京都市大学
(委員)	安藤 弘一	株式会社日通総合研究所
	伊藤 功	一般社団法人日本船主協会 (日本郵船株式会社)
	梅崎 重夫	独立行政法人労働安全衛生総合研究所
	小田 和裕	日本貨物鉄道株式会社
	奥山 正二	一般社団法人日本産業機械工業会
	酒田 義矢	一般社団法人日本パレット協会 (ユーピーアール株式会社)
	高瀬 健一郎	一般社団法人日本産業車両協会
	高辻 成次	一般社団法人日本航空宇宙工業会
	徳田 雅人	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
	永嶋 功	公益社団法人全日本トラック協会
	古屋 一	公益社団法人日本包装技術協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 2.2.1 改正：平成 26.1.20

官 報 公 示：平成 26.1.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本産業機械工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3434-6821)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：物流技術専門委員会 (委員長 増井 忠幸)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

ページ

序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 パレタイザ及びデパレタイザの種類	4
4.1 機械パレタイザ	4
4.2 機械デパレタイザ	4
4.3 ロボットパレタイザ	4
4.4 ロボットデパレタイザ	5
5 構成	5
5.1 機械パレタイザの構成	5
5.2 機械デパレタイザの構成	6
5.3 ロボットパレタイザの構成	7
5.4 ロボットデパレタイザの構成	9
5.5 空パレット段ばらし機の構成	10
5.6 空パレット段積み機の構成	11
6 パレタイズ及びデパレタイズの受渡し方式	12
6.1 パレタイズの受渡し方式による分類	12
6.2 デパレタイズの受渡し方式による分類	18
7 処理能力	18
7.1 パレタイザの積付け能力及びデパレタイザの取卸し能力の表し方	18
7.2 処理能力に関わる要素	19
7.3 処理能力評価	19
8 リスクアセスメントの実施	19
9 安全要求事項及び保護方策	19
9.1 一般	19
9.2 保護方策	19
9.3 人の内部区域への立入り時の安全確保	20
9.4 人の内部区域侵入への対策	20
9.5 通常運用での手動介在時の安全確保	20
9.6 荷物の安定性確保	20
9.7 保守作業時における安全確保	21
9.8 非常停止機器の設置場所	21
9.9 操作位置及び日常保守位置への接近手段	21
9.10 制御システムの安全関連部	21